

看護師を目指す大学生が災害現場での看護スキルを身につける 災害トリアージ演習を実施

京都光華大学（学長：高見 茂）看護福祉リハビリテーション学部 看護学科では、5月27日（水）に災害現場での経験豊富な現役看護師7名を特別講師として招き、本学看護学科4年生約80名を対象に災害現場を想定した「災害トリアージ演習」を実施いたします。

■ 災害現場で必要とされる看護スキルを身につける

南海トラフ地震の被害想定が見直され、大規模災害となることが改めて確認される中、看護師においても災害現場で必要とされる看護スキルを身につけることが重要となります。そこで、本学 看護福祉リハビリテーション学部 看護学科では、5月27日（水）に本学看護学科4年生 約80名を対象に、正課科目「災害看護論（担当教員：岡本 華枝 准教授）」の一環として「災害トリアージ演習」を実施します。

本演習は、緊急時（災害等）における看護職の役割と判断力を養うことを目的とし、実践的かつ臨場感のある訓練を通じて、災害現場で必要とされるスキルと姿勢を身につけることを目指します。



昨年度の様子

■ 演技指導や裂傷等の災害メイクを取り入れたリアリティの高いシミュレーション

本演習では、学生が救助者役や傷病者役など4つの役に分かれ、事前の演技指導や裂傷等のムラージュ（災害メイク）を取り入れたリアリティの高いシミュレーションを行います。特に、トリアージ訓練では、傷病者1人あたり約30秒という制限時間の中で、歩行の可否や脈拍などを迅速に確認し、治療の優先度を判断する、非常に緊迫感の高い演習となります。

【トリアージとは？】

トリアージとは、多数の傷病者が災害などで発生した際に、医療資源の最適化を図るため、傷病者の重症度や緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決定する行為。トリアージタグと呼ばれる4色の識別票を用いて区分を明示します。

■ 講師は実際の災害現場での経験があるDMAT隊員など経験豊富な現役看護師7名

本演習では、DMAT隊員（災害派遣医療チーム）の現役看護師や救急看護認定看護師、クリティカルケア認定看護師、国際災害救護ライセンス保有の看護師など、関西で災害看護に従事してきた専門家7名を特別講師として招き、JMAT（日本医師会災害医療チーム）としての活動経験を有する本学教員の岡本准教授と連携して、実際の災害現場さながらの演習環境を構築します。

■ 「災害トリアージ訓練」詳細

【日 程】2025年5月27日（水）3・4限（12:50～16:00）

【場 所】京都光華大学 体育館（〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38）

【対 象】看護学科4年生 約80名

【講 師】災害看護の経験を有する現役看護師7名

【タイムスケジュール】

13:00～14:10 演習の準備（演技指導、各自の役割説明、最後の15分間でデモンストレーション）

14:15～15:15 トリアージ演習の実施

15:15～16:00 振り返りおよび片付け

報道各社におかれましては、この活動について、広くご案内・取材いただきますようお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594

[E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>

2026年4月共学化！
「京都光華女子大学」から
「京都光華大学」へ

STAY BONBU, CO-CREATE WELL-BEING.

世代を超え、願いをつなぎ続ける学園を目指して

Well-Beingな社会を実現するためには多様な人々が手を取り合い共創することが必要です。その共創のスキルを学生が育めるよう、本学園はジェンダーの壁を取り払い、男女共学化。おもいよりの心で互いを尊重し、あらゆる人と共創できるキャンパスに進化します。